

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

## 思考スキル

### ○情報を獲得する

- ・問題文から情報や問題の条件を正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

### ○再現する

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示通りの操作を正しく行う

### ○調べる

- ・方針を立て、考えられる場合をもれや重複なく全て探し出す
- ・書き出すことを通じて、法則を発見する

### ○順序立てて筋道をとらえる

- ・変化する状況を時系列で明らかにする
- ・複雑な状況を要素ごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

### ○特徴的な部分に注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立った部分（計算式の数、素数、約数、平方数、…など）に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性に注目する
- ・規則や周期に注目する

### ○一般化する

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式を導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

### ○視点を変える

- ・図形を別の視点で見る
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

### ○特定の状況を仮定する

- ・「極端な場合を想定して考える（もし全て○なら、もし○○がなければ、…など）」
- ・不足を補ったり、余分を切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数のものが移動するとき、特定のものをだけ移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答の範囲や大きさの見当をつける

## 思考スキル

### ○知識<sup>ちしき</sup>

- ・ 情報を手がかりとして、持っている知識<sup>ちしき</sup>を想起する
- ・ 想起した知識を正しく運用する

### ○理由<sup>りゆう</sup>

- ・ 筆者の意見や判断の根拠<sup>こんきよ</sup>を示す
- ・ ある出来事の原因、結果となることを示す
- ・ 現象の背後<sup>はいご</sup>にあることを明らかにする

### ○置き換え<sup>か</sup>

- ・ 問いを別の形で言い表す
- ・ 問題の状況<sup>じょうきょう</sup>を図表などに表す
- ・ 未知のものを自分が知っている形で表す
- ・ 具体的な数と比を自由に行き来する

### ○比較<sup>ひかく</sup>

- ・ 多角的な視点<sup>してん</sup>で複数のことがらを比べる
- ・ 複数のことがらの共通点<sup>きょうつうてん</sup>を見つけ出す
- ・ 複数のことがらの差異<sup>さいい</sup>を明確にする

### ○分類<sup>ぶんるい</sup>

- ・ 個々の要素によって、特定のまとまりに分ける
- ・ 共通点、相違点<sup>そういてん</sup>に着目して、情報を切り分けていく

### ○具体・抽象<sup>ちゆうしやう</sup>

- ・ 文章から筆者の挙げる例、特定の状況<sup>しんじょう</sup>や心情を取り出す
- ・ ある特徴<sup>とくちゆう</sup>を持つものを示す
- ・ 個々の事例から具体的な要素<sup>のぞ</sup>を除いて形式化する
- ・ 個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

### ○関係づけ

- ・ 情報どうしを結び付ける
- ・ 要素間の意味<sup>いみ</sup>を捉え、情報を補う
- ・ 部分と全体のそれぞれが互いに与えあう影響<sup>えいきやう</sup>に目を向ける
- ・ ある目的のための手段<sup>しゅだん</sup>となることを見つけ出す

### ○推論<sup>すいろん</sup>

- ・ 情報をもとに、論理的な帰結<sup>きけつ</sup>を導き出す
- ・ 情報をもとに、未来・過去のことを予測する
- ・ 情報を活用して、さらに別の情報を引き出す

# 小学4年 基礎力テスト (国・算) —— 解答と解説

## 算数 (国語と算数あわせて40分)

**1**

(1)	1500	(2)	1307	(3)	5432
21		22		23	

(4)	109	(5)	12.1	(6)	$\frac{7}{9}$
24		25		26	

**2**

(1)	1.2 kg	(2)	100 円
27		28	

(3)	ア 1	イ 3	ウ 6	エ 3	(4)	青 色
(完答) 29					30	

(5)	① 11 番目	② 12 m
31		32

(6)	① 1 時間 40 分	② 午前 9 時 20 分
33		34

**3**

(1)	(2)	(3)
		9 こ
35	36	37

**4**

(1)	34 点	(2)	2 回	(3)	2 回
38		39		40	

# 国語

(国語と算数あわせて四十分)

問八	
C	A
脱	す
し	こ
て	し
い	ず
る	つ
	B
	着
	実

(完答)  
53

問六
1
ウ
2
ア
問七
エ

問二
イ
問三
エ
問四
イ
問五
時
間

問一
a
悪
b
岩
c
調子
d
風向
e
起

(配点)

算数

① 各2点×6=12点

② (1)~(5)各2点×6=12点 (6)各3点×2=6点

③ 各3点×3=9点

④ (1)3点 (2)(3)各4点×2=8点

国語

問一 ……各2点×5=10点

問二~問九 ……各5点×8=40点

計100点

【解説】

② いろいろな文章題

- (1) **A1** 情報を獲得する 再現する

$$300 \times 10 = 3000 \text{ (g)} \quad 1000\text{g} = 1\text{kg} \text{なので、} 3000\text{g} = 3\text{kg}$$

$$3 - 1.8 = \underline{1.2 \text{ (kg)}}$$

- (2) **A1** 情報を獲得する 再現する

$$\text{チョコレートの代金は} 225 \times 4 = 900 \text{ (円)}$$

$$\text{おつりは} 1000 - 900 = \underline{100 \text{ (円)}}$$

- (3) **A1** 情報を獲得する 再現する

$$\text{ウに9をたして1の位が5になる} \Rightarrow 6 + 9 = 15 \text{より、} \underline{\text{ウ} = 6}$$

$$\text{百の位からくり上がった1と2をたして、} \underline{\text{エ} = 3}$$

$$\text{アに3をかけて1の位が} (4 - 1 =) 3 \text{になる} \Rightarrow 1 \times 3 = \text{より、} \underline{\text{ア} = 1}$$

$$\text{イは百の位の3をかけて9になる} \Rightarrow 3 \times 3 = 9 \text{より、} \underline{\text{イ} = 3}$$

- (4) **A1** 情報を獲得する 調べる

Aは青ではないので赤か黄。Bが黄をかぶっているので、Aは赤をかぶっている。

Cがかぶっているのはこのりの青(色)。

- (5) ① **A1** 情報を獲得する 再現する

$$15 - 5 = 10 \quad 10 + 1 = \underline{11 \text{ (番目)}}$$

- ② **A2** 情報を獲得する 再現する

$$2 \text{人の間の数は、} 11 - 5 = 6 \quad 2 \text{人の間の長さは、} 2 \times 6 = \underline{12 \text{ (m)}}$$

- (6) ① **A1** 情報を獲得する 順序立てて変化をとらえる

$$\text{えんそう会の時間} = (\text{午前}10\text{時}30\text{分}) - (\text{午前}8\text{時}30\text{分}) = 2 \text{ (時間)}$$

$$\text{ピアノのえんそう時間} = (2 \text{時間}) - (20\text{分}) = \underline{1 \text{ (時間)} 40 \text{ (分)}}$$

- ② **A2** 情報を獲得する 順序立てて変化をとらえる

じっさいのえんそう会の時間は、ピアノのえんそう時間に休けいの時間をたすので、

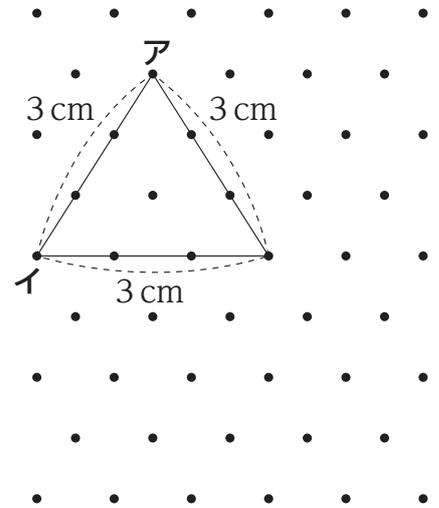
$$(1 \text{時間}40\text{分}) + (15\text{分}) = 1 \text{ (時間)} 55 \text{ (分)}$$

$$\text{はじまりの時こくは、} (\text{午前}11\text{時}15\text{分}) - (1 \text{時間}55\text{分}) = \underline{(\text{午前}) 9 \text{ (時)} 20 \text{ (分)}}$$

3 平面図形 (正三角形、直角三角形) の問題

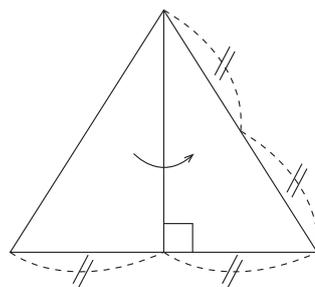
(1) **A1** 知識 調べる

正三角形の3つの辺の長さはどれも等しいので、右の図のようになります。

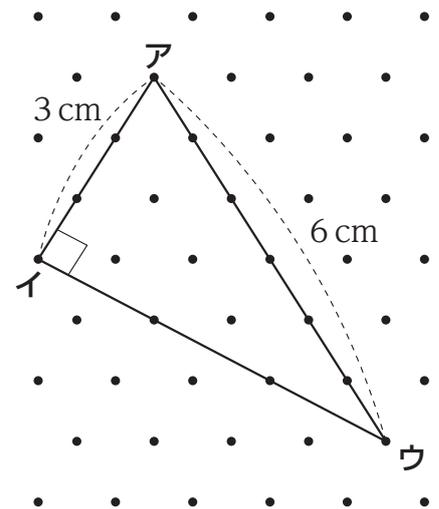


(2) **A2** 知識 調べる

正三角形の2つのちょう点が重なるように折りまげると (2等分すると)、直角三角形になり、一番長い辺の長さは、一番短い辺の長さの2倍になることを利用します。3 (cm) × 2 = 6 (cm) アから6 cmのウと、ア、イをむすぶと、図のような直角三角形になります。

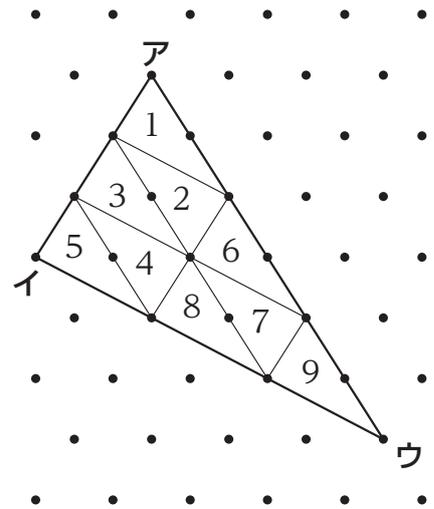


⇒



(3) **A2** 特徴的な部分に注目する 調べる

右の図より、9 (こ)



4 条件を整理して解く問題

(1) **A2** 情報を獲得する 調べる

$$10 \times 1 = 10 \quad 5 \times 3 = 15 \quad 3 \times 3 = 9 \quad 1 \times 2 = 2 \quad 2 \times 1 = 2$$

$$10 + 15 + 9 + 2 - 2 = \underline{34 \text{ (点)}}$$

(2) **A2** 情報を獲得する 調べる

表に書かれている分の点数の合計は、 $5 \times 2 = 10$ 、 $3 \times 3 = 9$ 、 $1 \times 2 = 2$  より、 $10 + 9 + 2 = 21$  (点)

10点とはずれの点数の合計は、 $39 - 21 = 18$  (点)

表に書かれている分の投げた回数は、 $2 + 3 + 2 = 7$  (回) よって、10点とはずれの回数の合計は、

$$10 - 7 = 3 \text{ (回)}$$

10点とはずれの回数と点数のかんけいを調べると、

10点	はずれ	点数
$10 \text{ (点)} \times 3 \text{ (回)} = 30 \text{ (点)}$	$0 \text{ (回)}$	$30 \text{ (点)}$
$10 \text{ (点)} \times 2 \text{ (回)} = 20 \text{ (点)}$	$2 \text{ (点)} \times 1 \text{ (回)} = 2 \text{ (点)}$	$20 - 2 = 18 \text{ (点)} \quad \bigcirc$
$10 \text{ (点)} \times 1 \text{ (回)} = 10 \text{ (点)}$	$2 \text{ (点)} \times 2 \text{ (回)} = 4 \text{ (点)}$	$10 - 4 = 6 \text{ (点)}$
$0 \text{ (回)}$	$2 \text{ (点)} \times 3 \text{ (回)} = 6 \text{ (点)}$	$6 \text{ (点)} \text{ へる}$

このことから、10点のところに当たった回数は2回

(3) **A2** 情報を獲得する 調べる

Cの点数はAの34点より高くBの39点より低いので、35点、36点、37点、38点のどれか  
 表に書かれている分の点数の合計は、 $5 \times 3 = 15$ 、 $3 \times 1 = 3$ 、 $2 \times 2 = 4$ より、 $18 - 4 = 14$  (点)  
 10点と1点の合計点数は、 $38 - 14 = 24$  (点)、 $37 - 14 = 23$  (点)、  
 $36 - 14 = 22$  (点)、 $35 - 14 = 21$  (点) のうちのどれかになります。  
 表に書かれている分の投げた回数は、 $3 + 1 + 2 = 6$  (回) よって、10点と1点の回数の合計は、  
 $10 - 6 = 4$  (回)  
 10点と1点の回数と点数のかんけいを調べると、

10点	1点	点数
$10 \text{ (点)} \times 4 \text{ (回)} = 40 \text{ (点)}$	0 (回)	40 (点)
$10 \text{ (点)} \times 3 \text{ (回)} = 30 \text{ (点)}$	$1 \text{ (点)} \times 1 \text{ (回)} = 1 \text{ (点)}$	$30 + 1 = 31 \text{ (点)}$
$10 \text{ (点)} \times 2 \text{ (回)} = 20 \text{ (点)}$	$1 \text{ (点)} \times 2 \text{ (回)} = 2 \text{ (点)}$	$20 + 2 = 22 \text{ (点)}$ ○
$10 \text{ (点)} \times 1 \text{ (回)} = 10 \text{ (点)}$	$1 \text{ (点)} \times 3 \text{ (回)} = 3 \text{ (点)}$	$10 + 3 = 13 \text{ (点)}$
0 (回)	$1 \text{ (点)} \times 4 \text{ (回)} = 4 \text{ (点)}$	4 (点) へる

このことから、10点にあたった回数は2回

## 【解説】

外山滋比古『ことわざの論理』（筑摩書房）から出題しました。さまざまなことわざをあげながら、当たり前前に流れていて普段意識していない「時間」や「時機」が私たち人間の営みに大きな影響を与えていることを説明しています。ことわざは、私たちが生きていく上での知恵の結晶なのです。

## 問一 A2 知識

三年生までの漢字を問う問題です。丁寧な字で、とめやハネがはっきり見えるように書きましょう。

## 問二 B1 理由 推論

——線①の直後に「あくる朝になれば、書きなおしたくなる」とありますが、それは、次の段落に示されているように、時がたてば「気が変わる」からです。「気が変わる」ということに触れられている選択肢はイのみです。A「自制心のなさの表れ」、ウ「相手も冷静に：理解してもらいやすい」、E「何回も見直す必要がある」という部分は、本文中に示されていません。

## 問三 B1 関係づけ

「『時』氏」というのは、時間を人にとえて表現したものです。——線③の二文後に「冷却期間をおいてから動けば、C氏は：不和をときほぐすことができる」とあります。「『時』氏に相談する」は「冷却期間をおく」と同じ意味だと考えられますから、答えはEです。

## 問四 B1 知識 関係づけ

接続語の問題は、その前後の文の関係をしっかりとつかむことが大切です。

④の前では「チリはチリである」とあり、後で「チリは：チリでなくなる」とあるので、その前後で逆のことを言っていることがわかります。ですから、ここには逆接のイが入ります。

## 問五 B1 関係づけ

⑤の直前に「『時』氏が協力すれば、水滴が岩をへこませることができ。雨だれだけの力ではない」とあるので、⑤には「『時』氏」に係する漢字二字の言葉、すなわち「時間」が入ることがわかります。

※ 書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。

## 問六

## 1 B1 知識 関係づけ

このことわざは一見「待てば海路の日和あり」と「まるで反対のことを言っている」ような意味にとれることわざです。ですから「すぐつかまえるべき」というような意味だと考えられます。すると、答えはイかウだと考えられます。「好機」とは「好ましい機会」、すなわちチャンスのことであり、「逸すべからず」は「逃してはならない」ということですから、イよりもウの方がふさわしいといえます。イの意味のことわざは「思い立ったが吉日」です。

## 2 B1 理由 比較

——線⑥の直後の段落に「どちらも全く同じである」と結論づけた部分があるので、その文の直前を読みます。そこには、「『時』氏の協力が得られるかどうかきがわめて大切である」とあります。「待てば：」は「『時』氏の調子がよくなるのを待つ」、「好機：」も「『時』氏のご機嫌がいい」のなら、すぐさま行動せよ、ということですが、どちらも「時機」（機会、チャンス）を見計らって行動する、という点で同じなのです。ですから答えはAです。イ「軽く見ていることをいまして」、ウ「時間を：かけることで：成功を得る」、E「チャンスが来るのを期待するのではなく：」の部分それぞれ誤りです。

## 問七 B1 関係づけ

「学校では教えてくれないが、ことわざは：教える」、すなわち、ことわざを知っていれば、自然とわかることは何かを考えましょう。イ・ウはことわざが「教え」てくれることではありません。Aはことわざそのものの意味ですから、これも不適切です。

## 問八 B1 理由 推論

「妙薬」とは、不思議なほどよく効く薬のことです。その意味を知らなくても、——線⑧を含む段落を読めばその意味は想像できるでしょう。この段落には、時間の経過とともに「すこしずつ」だが「着実に」「死ぬかと思われた苦しみから脱している」と書かれていました。この時間の働きを「妙薬」と言っているのでしょう。

※ 書き抜き箇所が正解でも、誤字脱字がある場合は不正解とします。